



芸術科

音楽を担当です。吹奏楽部の顧問も担当しています。自分の専門分野は音楽教育と作曲です。誰にでも好きな音楽（歌や曲）があると思います。音楽の持つ幅広さ、奥深さは無限です。ぜひ、知らなかった音楽や、音楽の楽しみ方を一緒に探求していきましょう。

授業は「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の領域に分かれていて、音楽Ⅰではすべての分野の基礎的な知識と技能を習得します。授業で気をつけてもらいたいことはただ1つ！“全力で楽しむ”という姿勢です。《楽しい》と《楽（ラク）》は、字は同じでもまったく異なります。音楽が楽しいという感覚は全力でその行為に参加したときに得られるものです。なかには苦手な分野もありますが、すべての課題に全力でチャレンジしてみてください。

美術担当です。美術部顧問です。只今、美術部員大、大、大、募集中です。私の専門は工芸です。教師になるまで、シルバーアクセサリーの作家をしたり、靴メーカーでパターンナーとして働いたり色々なところで物作りを経験してきました。物作りは本当に楽しい。そして高校生の皆さんとの授業は最高に楽しい。1年次の皆さんとの授業も楽しみしています。

美術の授業は実技が中心になります。筆記試験はありません。課題提出と授業に取り組む姿勢で成績が付きます。上手、下手というよりも、課題の内容をよく把握して、自分の頭で考え行動することを求めています。意外に感じるかもしれませんが、美術は感覚的なものではなく、常に考えるものです。さらに、全く違うように見える課題でも必ず基本のデッサンから繋がっています。一つ一つ積み上げるものです。常に考え、能動的に行動し、そして何よりも楽しんで取り組んでいきましょう。楽しい課題を用意して待っています。

書道を担当です。大阪出身で、大学進学を機に上京しました。高校時代、経験もないのにたまたま書道部に入部したことが今の仕事に結びついたり、大学院時代古本屋でたまたま声をかけたのが今の妻だったり、人生とは不思議なものだと思っています。

書道は毎回の提出物と、学期末に提出するノート（毎回の授業内容をまとめたもの）の総合点で評価をつけます。毎回授業内容を積極的に身につけようとし、こまめにノートをまとめておくのが理想的です。また、書道はただ字をうまく書くことが目的ではなく、人間が文字を書き、残してきた歴史を知る教科です。毎回提示されるお手本をただ写すのではなく、なぜこんな字が書かれたのか、前回のお手本とどんな違いがあるか、考えながら取り組んでほしいと思っています。